

# 衛生や健康に関する検査・調査を行う

衛生研究所 ウイルス部  
主任研究員 板持 雅恵

平成 13 年採用

衛生研究所に配属、現在に至る。



左上、右上：環境水から腸管系ウイルスを検出（筆者・中央）

左下：衛生研究所  
右下：検査室の内部

## 人の衛生に関する調査を行う薬剤師

衛生研究所では、県民の生命と健康を守る「地域の科学的・技術的拠点」として、食品、飲料水、生活環境の安全・安心確保や、感染症などの健康危機対策のために、試験検査、調査研究、研修指導、公衆衛生情報の収集・解析・提供等を行っています。

私は、ウイルス感染症の検査と調査研究を担当しています。感染症の検査結果や流行情報は、医療機関や関係機関に報告するとともに、県民に還元しています。新規の知見は関連学会や学術雑誌に発表します。

## ある1日のスケジュール

5:00	起床・家事・子供の世話・保育園送迎
8:20	<出勤・執務開始> メールチェック ▼ 細胞観察（ウイルス増殖の確認）
8:30	<部内の情報共有> ▼ 緊急検査事例の内容や対応について
9:00	<ウイルス検査・調査> ▼ ウイルスの型別同定、抗体測定 試薬作製、細胞継代、調査研究
12:15	昼食・休憩（休憩時間 15 分短縮）
13:00	<打ち合わせ> ▼ 部内ミーティング、所内打ち合わせ、 予演会等
14:00	<ウイルス検査・調査> ▼ 検査・調査研究の続き、物品の準備
16:00	<事務仕事> ▼ 検査結果まとめ、成績書作成、報告、 回答、相談、調査計画の立案
17:00	退庁（休憩時間の変更により）
17:30~ 21:00	保育園・学童送迎・家事・子供の世話

## 仕事の魅力・やりがい

衛生研究所では、医師、獣医師、薬剤師、臨床検査技師、化学や生物の研究者が働いています。

地球上に人や動物が存在する以上、新しい感染症が発生し、流行します。衛生研究所の使命は、病原体の性状や、流行状況、薬やワクチンの効果を解析することにより、対策を講じるための科学的な根拠を示すことです。公衆衛生上、対策の必要な感染症は、国や県庁、厚生センター・保健所、医療機関等と連携して調査を行います。

検査には、感度と特異性、迅速性、効率性が求められるため、新しい情報や技術を取り入れることが大切です。共同研究により調査を深めることも重要です。

## 子育てと仕事

幼い子供達から私の仕事は何かと聞かれると、「お母さんは、公務員で、薬剤師で、研究員だよ。『今、こんな病気が流行しているので、気をつけて下さい』とみんなにお知らせすることが仕事だよ。」と答えています。情報収集のために論文を読んでいると、子供達が寄ってきて、「楽しい？」と聞いてきます。「難しいこともあるけれど、楽しいよ。」と答えています。衛生研究所の職員は、行政マンであることと、研究者であることの両方を求められると思います。協調性と継続性を大切にしています。

## メッセージ

感染症や薬、ワクチンに関する知識や技術を生かして、人々の健康に役立つ仕事をしましょう！